

令和5年度第4回向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会要点録

1. 開催日時：令和6年2月13日（火）午後2時00分～午後3時00分
2. 開催場所：永守重信市民会館1階 第1会議室
3. 出席委員：清水副委員長、出射委員、高桑委員、小林委員、橋本委員、山田委員
以上6名
※欠席：清家委員、若江委員、太田委員、阿達委員
4. 傍聴者：1名
5. 議事
こうふくプラン向日（第10次向日市高齢者福祉計画及び第9期向日市介護保険事業計画）案について

6. 内容

議事 こうふくプラン向日（第10次向日市高齢者福祉計画及び第9期向日市介護保険事業計画）案について

事務局

- ・資料1-1を用いてパブリック・コメントの結果について概要を説明
- ・資料1-2を用いて計画案の概要を説明（主に、素案からの変更点を説明）

副委員長

- ・ただいまの説明について、ご意見、ご質問等がありますか。
- ・なければ私から、58ページにある外国人の介護職員の件ですが、「京都府外国人介護人材センター」とは、外国の介護人材の方を登録するセンターなのですか。それとも周知を行うセンターなののでしょうか。

事務局

- ・登録するというより、外国人労働者の方が定着・継続できるような形の支援をされている機関であるとホームページ上などでは案内されております。

副委員長

- ・そうなる、外国人の方がセンターに行くというよりは雇用側の方がアクションを起こすという機関ということなのですか。

事務局

- ・詳細な部分に関しては我々も把握しきれておりませんが、個人や企業を問わず相談支援をされているとホームページ上では案内されております。

副委員長

・外国人の方は話題になることも多いので、相談にのってもらえる手厚さが必要なのでお願いしたいと思います。

他にご意見等ございましたらお願いいたします。

委員

・外国人の方の話に関連してですが、どの国でも外国人を受け入れるということは安い労働力を欲するがためですが、日本の医療・介護分野では日本人と同じ給料を支払っております。一人の外国人の方を入れますと大体 200 万円ほどの費用がかかります。これから介護人材が減っていく中、介護人材にも外国人の方が増えていくと思われませんが、そうすると介護保険料はますます上がっていくのではないかと危惧しています。

もう 1 点、パブリック・コメントで介護保険料を安くしてほしいというご意見がありますが、これは物価が上昇している昨今ごもっともな話だと考えています。世界的に見ると日本の医療費や介護費は非常に安く、例えばアメリカで大病をすると財産がなくなる危険すらあるほど高いです。日本の医療費や介護費がいかに安いかを知ってもらう必要があると思います。マスコミはそういうことは一切報道せず、保険料や医療費が上がったと言っておりますが、日本の保険制度は優れており、安価であることを一般市民の方に知ってもらう必要があると思いますし、できるだけ安くするということは当然ですが、すでに安上がりであるという自覚が少ないのではないかと思います。

副委員長

・ありがとうございます。事務局より何かご意見はございますか。

事務局

・なるべく市民の皆様が安い介護保険料で運営できるよう考えていきたいと思っております。

副委員長

・いい制度なので財政面で破綻しないようにしたいですね。

・他になければもう 1 点、介護人材を派遣する会社があって、そういう所が中間的に何かを取って応募者に還元するキャッシュバックを行っているところもあると聞きます。そのような会社を制限するなどしないと、本当に必要な要求に応じられないような会社も出て不利益を被りかねませんので、取り締まりなども何かの機会に検討できないかと思っています。

委員

・今おっしゃっていただいたことは全くその通りで、人材派遣会社は変な儲け方をしています。質の悪い業者は悪質な引き抜きを行いますが、よい業者でも就職するとお祝い金を出します。転職を繰り返す人は次のところでお祝い金をもらって業者も儲かるという妙なシステムが構築されております。協会を通じて国に働きかけていますが、国の方は重い腰を上げてくれません。

副委員長

・行政の方から今のご指摘の点に関して、国へ意見具申できる機会があればぜひお願いしたいと思います。他にございませんか。

委員

・来年度からの介護報酬改定で、介護報酬は値上げされますが、訪問介護のみ報酬が下がった中で、維持が困難な事業所が出てくるのではないかと懸念もあります。介護給付に関しては若干ながら上がるのではないかと思います。

副委員長

・国は在宅介護を進めていますが、これらにはホームヘルパーさんの役割も大きいと思いますので、行政としても考えていただけたらと思いますが、これは国の方針ですか。

委員

・なぜかわかりませんが国の方針です。株式会社が自前の訪問サービスを展開するなどいろいろなことがあるかと思いますが、唯一報酬が下がっています。訪問介護の事業所を続けるということは運営的にも大変なので難しいのではと思います。

副委員長

・ヘルパーさんも高齢化により数が減っているという事実もありますので、息がつけるようにしていただければと思います。

事務局

・ヘルパーさんも大変な仕事ですので、そういった方の下支えがあるからこそ皆様が、快適にお暮らしいただけると思います。しかし、人材確保について市として何か有効な施策があるかという点、課題であることは認識していても、できることが限られているという歯がゆさも感じています。

副委員長

・他に発言されていない方はどうぞ。

委員

・現場の声を聞くことができ、大変参考になっています。ありがとうございます。

委員

・まだ介護は使ってないからわからないが、病気なら治療できたかどうかはある程度判別がつきますが、介護の場合どのようなシステムで満足度を保つかがイメージしづらい。メディアでみる限りではいろいろなサービスがありますが。

副委員長

・母親が介護保険を利用させていただいておりますが、その際デイサービスを利用して、医療ではお風呂に入れなため大変ありがたかったのに、介護用具のレンタル料も非常に安く、助かった思いがあります。

委員

・貴重なお話を聞けてありがとうございます。特に計画に用語解説があるのはありがたいです。

副委員長

・他にご意見はございませんか、ないようでしたらその他に移ります。

事務局

・その他はございませんが、事務局から、これまでのお礼と今後の予定についてお知らせします。委員の皆様には、これまでアンケート調査を含めて5回にわたる会議にご出席いただき、貴重なご意見をいただきまして厚く御礼申し上げます。ご議論をいただいた「こうふくプラン向日」につきましては、今後介護保険料など議会の議決を要する手続きを行いまして、3月末までに策定を完了する予定としております。来年度以降の会議の開催につきましては、概ね年度の後半に1回、介護保険事業の進捗状況の報告を中心に開催させていただく予定です。

副委員長

・それでは本日の議題を終了いたします。委員の皆様には、議事進行にご協力いただきありがとうございました。以上をもちまして本日の策定委員会を閉会させていただきます。

閉会